

令和 7 年度事業報告

(令和 7 年 4 月 1 日~令和 8 年 3 月 31 日)

会員

区分	部会等		R7.3.31	増減	R8.3.31	備考
正会員	開業	1	301	△5	296	旧 AB
		2	74	△2	72	旧 CDE
	小計		375	△7	368	
	衛生・畜産	1	73	△2	71	旧 AB
		2	6		6	旧 C
	小計		79	△2	77	
	教育・研究他	1	69	△7	62	旧 AB
		2	11	△1	10	旧 C
	小計		80	△8	72	
	合計		534	△17	517	
名誉 会員	開業		3	1	4	
	衛生・畜産		9	1	10	
	教育・研究他		6	△1	5	
	合計		18		19	
賛助 会員	法人		29	1	30	
	個人		0		0	
	合計		29	1	30	
総合計			581	△15	566	

新会員（令和 7 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日までに入会された会員）

区分	部会等		会員名（受理順、敬称略）（（ ）は勤務地）
正会員	開業	1	鈴木夏海（和泉）、玉山聖豪(堺)、仁藤稔久(柏原)、山本雅祥(茨木)、井上克徳（池田）、中津啓（堺）、松本淳（茨木）
		2	伊佐敷祐実、坂本容詩江、小田美央、辻恵吾、松井明日花
	小計		12 名
	衛生・畜産	1	
		2	
	小計		0 名
	教育・研究他	1	
	小計		0 名
	合計		12 名
賛助 会員	法人	株式会社エンジン、三井住友カード株式会社、株式会社ストライク、学校法人立志舎大阪動物専門学校、株式会社アルファリフォーム、学校法人立志舎大阪動物専門学校天王寺校	
	合計		6 名
総合計			18 名

会議等

役員会等開催概要		
定時総会	R7.5.31	決議事項 令和 6 年度事業報告の件 令和 6 年度決算報告の件 役員の選任について 報告事項 令和 7 年度事業計画の件 令和 7 年度収支予算の件 令和 7 年度資金調達及び設備投資の見込みについて 規則・規程等の改正について
理事会	R7.5.7	第 79 回総会の開催方法、報告・決議事項について 決議事項 令和 6 年度事業報告の件 令和 6 年度決算報告の件 役員の選任について 報告事項 令和 7 年度事業計画の件 令和 7 年度収支予算の件 令和 7 年度資金調達及び設備投資の見込みについて 規則・規程等 の改正について 定款第 30 条に基づく執行理事の報告等
	R7.5.31	総会運営について
	R7.5.31	会長、副会長、専務理事及び常務理事の選定
	R7.12.15	狂犬病予防注射に係る犬門標取扱規程について 委員会委員の異動等について 委員会規則の改訂について 定款の変更の総会への提案について 定款第 50 条に基づく「会費等の額及び納入方法」の変更案について 定款第 30 条に基づく執行理事の報告等
	R8.3.13	令和 8 年度事業計画書について 令和 8 年度収支予算書について 令和 8 年度資金調達及び設備投資の見込みについて 特定資産の狂犬病予防・動物愛護資産、中村学術奨励資産の支出について 委員会委員の異動について

(部会：開業；(開)、衛生・畜産；(衛)、教育・研究他；(教)、五十音順、敬称略)

業務 執行 理事	会長（代表理事）：佐伯潤(開) 副会長：北原千春(開)・熊井優子(衛)・笹井和美(教) 専務理事：田中啓一郎((衛)事務局) 常務理事：淡路俊喜(開)
理事	(開)：大下勲、坂口秀平、田村浩司、西村厳童 (衛)：中上昭二、橋詰克規 (教)：三宅眞実、相馬武久 (外)：吉村明
監事	佐藤昭司(開)、中井正博(教)、虎谷卓哉 (外)

相談役	澤田勉(教)、長濱伸也(衛)
-----	----------------

会務運営会議 業務執行理事	業務執行理事、相談役と関係者を交え、会の実務の執行について企画、検討を実施しました。 (開催：R7/4/18、5/16、6/27、7/18、8/22、9/17、10/17、11/21、12/19、R8/1/23、2/27、3/27)
------------------	---

委員会名	委員名
広報委員会	委員長：田中啓一郎(衛) (開)；江口之朗、白石佳子 (教)；三宅眞実、川手憲俊 副委員長(IT 担当)：大下勲(開) (開)；中野康彦 (開催：R7/5/28、6/19、7/2、7/4、7/14、7/17、10/15、11/11、11/17、11/24)
動物愛護推進委員会	委員長：淡路俊喜(開)、副委員長：西村厳童 (開) 大阪動物愛護フェスティバル委員会委員長：新山亮 (開) (開)；生島広樹、緒方麻衣子、北原千春、小松克、下西清夫、松本賢治、安田圭一郎、山本卓矢 (教)；中井正博、深田恒夫、原怜史 (開催：R7/6/3、8/4、8/20、9/9、10/5、11/14、11/25、R8/2/2)
動物介在教育推進委員会	委員長：大下勲(開) (開)；江口之朗、会亀昭夫、橋本雄大 (衛)；熊井優子、樋渡清美、石塚譲 (開催：R7/7/22、10/23、R8/2/19、3/23)
動物救護等対策委員会	委員長：山岸達郎 (開)、副委員長：坂口秀平 (開) 大阪 VMAT 隊長；北原千春(開)、同副隊長；大下勲(開) (開)；佐藤光晴、志水孝臣、下西清夫、白石佳子、中津賞 (衛)；小泉典代、武田雅人、橋詰克規 (教)；笹井和美、三宅眞実 (開催：R7/6/20、10/17、10/27、11/23、R8/1/18)
獣医学術委員会	委員長：田村浩司(開) (開)；淡路俊喜、佐藤昭司、佐藤光晴、西戸達郎、吉田祐樹 (教)；相馬武久、古家優 (開催：R7/4/26、4/28、4/30、5/9、5/21、7/22、8/25、9/9、9/10、10/2、10/7、10/8、10/12、11/5、11/18、12/3、12/22、R8/2/9、2/20、3/1、3/5)
狂犬病等感染症対策委員会	委員長：三宅眞実(教)、副委員長：北原千春、田丸尚道 (開) (開)；黒川慶一、合原靖子、城塚隆宏 (衛)；熊井優子、中上昭二、服部武裕 (教)；笹井和美、安木真世 (開催：R7/6/7、6/18、7/2、7/14、7/25、10/22、R8/1/14)
規律委員会	委員長：佐伯潤(開) 副委員長；北原千春(開)、熊井優子 (衛)、笹井和美(教) (開)；淡路俊喜、坂口秀平 (衛)；田中啓一郎

1 感染症対策事業

(1) 狂犬病予防推進事業

ア 市町村が実施する狂犬病予防注射（以下「集合注射」という。）が、円滑かつ効率的に実施されるよう、また飼犬登録率の向上のため連携を密にした。

大阪府内 42 市町村（大阪市を除く。）と集合注射実施に向けて協議した。

（新型コロナ感染症対応など）

集合注射の中止や実施形態の変更等の対応が 15 の自治体でなされた。

イ 予防注射の接種率の向上を図るため、会員動物病院にポスターを掲出し、あわせてまた、市町村各広報誌へ情報提供し周知啓発に努めた。

ウ 本会が狂犬病予防注射業務研修をおこない、修了した会員獣医師 299 名を集合注射等協力獣医師として委嘱し、確認書の規定に基づき府内 40 市町村長へ推薦した。

エ ワクチンによる事故情報を迅速に共有化することにより飼い主への不安軽減と注射の安全性向上を図り、また、狂犬病予防注射の事故等の迅速対応体制を確認するため連絡会議を開催した。

オ 狂犬病予防注射接種による副反応やアナフィラキシー等有害事象について 1 件の報告があり、丁寧に飼い主に説明し、犬への治療対応も実施した。

カ 本会が作製している、大阪府条例に規定された犬を飼っている旨の表示（門標・犬シール）を魅力あるデザインで作製し、飼い主に無料で配布して接種率の向上を図った。

周知啓発

ホームページに掲載するとともに、市町村周知広報時に啓発文を掲載。

ポスター：会員動物病院(299 施設)に配布。

(2) 人と動物の共通感染症の対策に係る情報収集と啓発

ペット動物の SFTS(重症熱性血小板減少症候群)抗体保有調査を大阪健康安全基盤研究所と協働連携し実施した。また、SFTS の情報についてホームページ会員サイトに掲載した。

レプトスピラ感染症についての検査体制と公衆衛生に係る情報共有のシステムを、大阪公立大学の協力により構築し、レプトスピラの情報についてホームページ会員サイトに掲載した。

感染症疑いの臨床検体を送付するため、「臨床検体（危険物）カテゴリーB」に対応する「国連規格の容器」に準拠したバイオメーラーを必要に応じて会員に頒布する体制を構築し、緊急使用のため各支部長に預託した。

長崎大学齊藤信夫准教授による動画「フィリピンにおける狂犬病の実態と症例」をホームページ会員サイトに掲載した。（提供元：明治アニマルヘルス株式会社）

養鶏施設や野鳥などの高病原性鳥インフルエンザの発生による鶏肉、タマゴやペットの風評被害の発生がないように正しい情報の発信に努めた。

[情報発信対象] 会員、近畿地区獣医師会、各種団体、一般

[対応会員動物病院数] 299 動物病院

(3) 家畜衛生・食品衛生・畜産分野での周知啓発事業

家畜衛生、食品衛生、食肉衛生、畜産分野で最新情報を発信するためホームページに掲載するとともに、チラシ・掲示物で周知した。

豚熱の発生が、イノシシなどの野生でも確認された。豚肉の風評被害の発生がないよう正しい情報の発信に努めた。

農水省がすすめている魚病に詳しい獣医師事業に協力し、養殖場の疾病管理情報の発信と周知に努めるとともに協力獣医師リストに登載した。

2 動物愛護事業

(1) 大阪動物愛護フェスティバル事業

「動物の愛護及び管理に関する法律」に基づく動物愛護週間の支援事業として、公益社団法人大阪市獣医師会と主催し、大阪府、大阪市との共催、環境省、公益社団法人日本動物福祉協会の後援により「命ある動物の愛護と適正な飼養についての関心と理解を深める」ため、「みんなともだち 地球の仲間」をテーマとして、大阪市中心公会堂で長寿動物表彰を行うとともに、会場に来られない飼い主のため、表彰式の様子を web 配信し、動物の愛護と適正な飼養について周知啓発した。鶴見緑地パーゴラ広場でのイベントについては雨のため中止を余儀なくされた。

◎大阪市中央公会堂：2025 年 9 月 20 日（土曜日）（Web 配信：2025/10/10～10/24）

ア 長寿動物表彰式

[表彰基準] 大型犬：13 歳以上、中・小型犬：16 歳以上、猫：18 歳以上 合計 857 頭表彰

[特別長寿表彰] 五月山動物園：ウォンバット：36 歳

イ 講演会：講師：田中雄三先生（みゅう犬猫デンタルクリニック）

演題：「愛する家族と紡ぐ『口福』の物語：今私たちにできる高齢期の口腔ケア」

ウ 動物愛護精神の涵養のため、長寿動物表彰を受けた動物の写真を展示した。

◎鶴見緑地パーゴラ広場：2025 年 11 月 9 日（日曜日）

下記のイベントを予定していたが雨天のため中止となった。

ア 盲導犬の紹介と演技をとおして、身体障害者補助犬を正しく理解されるよう周知啓発する。

イ 警察犬、災害救助犬の紹介と演習をとおして、犬の訓練としつけが人の生活に必要なことを周知啓発するとともに動物と共存することの楽しさを伝える。

ウ しつけ教室を開催し、しつけの実技指導をとおして、より適切な管理を啓発する。

エ 無料動物医療相談を開設し、診療などへの質問、相談に応じる。

(2) 動物救護等対策事業

大阪 VMA T（獣医療支援チーム Veterinary Medical Assistance Team）を、獣医療関係者（獣医師、愛玩動物看護師、動物病院スタッフなど）で構成運営し、自治体の防災訓練等に参加

して、ペット動物の同行避難や、災害時の避難所において、同行避難してきた飼い主が協力し合
って動物を管理し、避難生活を開始するための「スターターキット」の考え方の啓発を行った。
また、認定NPO法人日本レスキュー協会トレーナーを講師に招聘し災害発生時の現地の状況、
支援活動等について講習会を主催した。

2025/9/21：大阪府アニハモのつどい講演会「ペット防災について」講師：坂口秀平副委員長

2025/10/12：近畿地区連合獣医師大会会場において近畿地区災害担当者会議を開催し、連絡ツ
ールを利用した情報共有システムを構築

2025/10/26：大阪狭山市防災フェスタに参加

2025/11/5：大阪 880 万人訓練に参加し、会員の安否確認訓練を実施

2025/11/23：富田林市防災フェアに参加

2025/12/1：大東市防災訓練に参加 防災講話とブース出展を実施 講師：笹井副会長

2026/1/18： 災害時の民間団体によるペット飼養世帯への支援活動と他機関との連携について
講師：辻本郁美先生（認定NPO法人日本レスキュー協会 トレーナー）

2026/1/26：大阪狭山市防災フェスタに参加

ア 会員動物病院の連絡網の再確認と web による情報の共有化を実施した。

イ 災害発生における避難所へのペット同行避難について市町村へ周知するとともに、10 施設
の避難所に配備したペット収容ケージ 70 台について確認した。

ウ 災害発生時に備えるため、「災害時動物救護協力病院」の確認と追加募集を行った。

エ 動物の個体識別のためのマイクロチップの普及啓発を行った。

逸走動物を早期に飼い主のもとに戻すため、公益社団法人日本獣医師会の個体識別措置推進
事業と協働しマイクロチップの普及啓発を行った。

オ 自己完結型救護活動を目指し次の確認点検をおこなった。

災害時用テント 1 張り、小型テント 2 張り、簡易トイレテント 1 張り、折畳ベンチ 3 脚、
折畳机 4 脚、折畳椅子 3 脚、カセットガス発電機 1 台、カセットガスストーブ 4 台、ポー
タブル電源 2 台、太陽光パネル 2 台、ペットキャリーバッグ 1 個、災害時用ケージ 70 台、
投光器 2 台、ヘルメット 20 個、ヘルメットランプ 10 個、トランシーバー 6 台、災害本部幟
旗 3 旗、カセットガスボンベ 48 本（ローリングストック 7 本/年）

カ 狂犬病予防ワクチン備蓄 3,100 頭分 協力病院 30 病院を確認

備蓄方法：流通在庫備蓄方式(ローリングストック方式)

（3）野生鳥獣救護事業

大阪府野生鳥獣救護ドクターとして協働した。

野生鳥獣救護ドクター登録数：35 名（内 特定救護 2 名）

救護等実績数：77 件（内訳：鳥類 75 件、獣類 2 件）

また、特定非営利活動法人野生動物救護獣医師協会の講習会やポスター「ヒナを拾わないで」の掲示等の活動を後援し、大阪府のポスター「野鳥は自然のままに」とともに周知啓発した。

(4) その他

◎大阪府動物飼養管理サポート事業に連携協働

子猫受入動物病院：13 病院、実施動物病院：0 病院、サポート子猫：0 頭

治療実施動物病院：6 病院、 サポート犬：5 頭 ネコ：1 頭

◎大阪府所有者のいない猫対策支援事業に連携協働

能勢町の 1 地域 1 病院、松原市の 1 地域 1 病院、岸和田市の 2 地域 2 病院、において、避妊手術 9 頭、去勢 9 頭、助言相談 4 回（うち譲渡対象処置：雌 3 頭、雄 3 頭 計 6 頭）

◎大阪府子猫育成サポート事業に連携協働

指定動物病院：12 病院、実施動物病院：2 病院、対象子猫：8 頭

◎大阪府多頭飼育対策事業に連携協働

豊中市案件ネコ 7 頭について、4 病院で対応

◎大阪府適正飼養普及啓発事業

講師として会員獣医師を推薦し 4 か所で獣医療からの適正飼養を啓発した。

◎大阪府動物愛護推進協議会に佐伯会長、動物愛護推進委員会淡路委員長が委員として参画。

◎大阪府動物愛護推進員に会員を推薦。

◎大阪府動物由来感染症対策連絡会議に佐伯会長が委員として参画。

◎大阪府アライグマ被害対策検討委員会に笹井副会長が委員として参画。

◎大阪府畜産会衛生対策事業等に笹井副会長が理事として参画。

3 動物介在教育推進事業

(1) 大阪府教育庁、学校教育関係者等への学校飼育動物に対する技術的指導、支援。

教育庁の市町村担当主事研修を支援した。今年度は、動物介在教育推進委員会大下勲委員長が講師を務め、オンデマンドで学校飼育動物担当指導主事対象の研修を行った。

(2) 各市町村学校における子どもたち等への学校飼育動物の講習会等への協力

学校飼育動物協力獣医師：34 名

市町村教育委員会：42 機関

対象小学校・支援学校：732 校

学校飼育動物の診療実績：41 件 授業への協力等：2 件

学校での動物飼育の発表展示と奨励表彰

令和 7 年度は表彰の対象となる学校の推薦が無かった。

動物介在教育特別講義支援

2025/11/29：大阪大谷大学教育学部教育学科幼児教育専攻自然教育コース学生 24 名に対し特別講義学外講師として、動物介在教育推進委員会大下勲委員長が講演。

4 学術普及事業

(1) 学会、研修、講習会の開催

1. 2026/3/1:「本当に治せる!? F I Pの治療とその倫理」

場所: 大阪公立大学 I-site なんば

講師: 神吉 剛先生 (神戸アニマルクリニック)

白永伸行先生 (シラナガ動物病院)

対象: 近畿地区連合獣医師会会員、愛玩動物看護師・その他動物病院スタッフ、研究者

(2) 学会、研修、講習会の共催、協力

1. 2025/4/6: 日本動物福祉学会 第5回シンポジウム「産業動物と災害時対応」
2. 2025/4/14~28日: 日本動物福祉協会 第一回動物福祉市民講座
3. 2025/5/15: 獣医脳神経脊椎外科研究会オンラインセミナー
4. 2025/6/20~22: 2025年度 日本獣医麻酔外科学会 第1回近畿地区講習会
5. 2025/7/1~ 7/15: 第16回 OMU-VMC【Web】セミナー
6. 2025/7/12: (公社) 日本動物福祉協会 第4回シェルター・メディスン・セミナー
7. 2025/7/26・27: (一社) 日本臨床獣医学フォーラム WJVF 第16回大会
8. 2025/8/10: 公益社団法人京都府獣医師会 令和7年度学術講習会
9. 2025/8/17: (公社) 和歌山県獣医師会 令和7年度和歌山県獣医師会講習会
10. 2025/8/24: 獣医脳神経脊椎外科研究会 年次講習会 2025
11. 2025/8/30: 第22回日本動物リハビリテーション学会学術大会
12. 2025/9/7~9: 第178回 JAHA 国際セミナー
「未来の獣医整形外科を切り拓く~3D プリンティング×肘・股関節周囲疾患へのアプローチ~」
13. 2025/9/10: 大阪公立大学獣医学部主催 馬オープンセミナー2025
14. 2025/9/14: (一社) 日本獣医麻酔外科学会 2025年度 第1回近畿地区講習会
15. 2025/10/11: (公社) 日本動物福祉協会 動物災害対策研修会
16. 2025/10/12: 令和7年度獣医学術近畿地区学会・第103回近畿地区連合獣医師大会
17. 2025/10/18: Zoobiquity Symposium -ワンヘルスが導く医療と獣医療の新時代-
18. 2025/10/18~19: 第46回動物臨床医学会年次大会
19. 2025/11/9: 日本獣医生命科学大学 ワンヘルス・ワンウェルフェアセンター
キックオフ シンポジウム
20. 2025/11/16: (公社) 神戸市獣医師会 令和7年度学術講習会
21. 2025/11/22~24: (公社) 日本動物福祉協会 RSPCA『インスペクター短期研修会』

- 22. 2025/11/23 : VET DOCK セミナー2025 オンサイト・オンライン
- 23. 2025/12/7 : (公社) 奈良県獣医師会小動物部会主催「年末学術セミナー」
- 24. 2025/12/12~14 : (一社) 日本獣医麻酔外科学会 2025 年度第 111 回学術集会
- 25. 2025/12/13~14 : (一社) 日本獣医画像診断学会 第 77 回日本獣医画像診断学会
- 26. 2025/12/13 : (公社) 日本動物福祉協会 第 5 回シェルター・メディスン・セミナー
- 27. 2026/1/12 : (公社) 滋賀県獣医師会 動物看護師セミナー

静かな異変に気づく力 ―麻酔・入院管理における動物看護の本質―

- 28. 2026/1/16 : 日本学術会議 公開シンポジウム
「One Health から SFTS (重症熱性血小板減少症候群) を深掘り」
- 29. 2026/2/1 : 第 12 回九州エキゾチック動物臨床研究会セミナー
- 30. 2026/2/8 : 第 12 回兵庫県開業獣医師会臨床研究会
- 31. 2026/2/21 : 日本学術会議 公開シンポジウム
「One Health 時代における獣医学の使命ーくらし・いのち・地球を繋ぐー」
- 32. 2026/3/1 : (公社) 大阪市獣医師会 第 2 回小動物診療技術講習
- 33. 2026/3/8 : 動物政策研究会 シンポジウム「動物の命を考える」
～愛情と感謝と懺悔を込めて、動物の命を絶つことを考える～
- 34. 2026/3/22 : (一社) 堺市獣医師会学術講習会 令和 8 年堺市獣医師会学術セミナー
- 35. 2026/3/22 : 2025 年度 日本獣医麻酔外科学会 第 2 回近畿地区講習会
今日から使える！みんなで学ぼう「局所麻酔入門」
- 36. 2026/3/22 : 2025 年度 日本獣医麻酔外科学会 第 2 回近畿地区講習会

(3) 学会への参加発表の奨励、表彰

令和 7 年度獣医学術近畿地区学会に大阪府獣医師会学会対策委員として企画運営に参加した。

また、本会の公益事業の発展に貢献、功績のあったものに中村賞と会長賞を、令和 8 年挙行の卒業式において、成績優秀で将来の発展が期待できるものに会長賞を授与した。

- 1. 中村賞：木下久則様 獣医学を通じて社会に貢献しその功績が他の模範となるもの
松林 誠様 獣医学術の向上と獣医技術の普及に貢献のあったもの
- 2. 会長賞：公益事業の発展に貢献があり、その功績が顕著であるもの

【大阪府動物愛護管理基金事業対応病院】

池本唯一様、石塚泰雄様、岩本竹弘様、老木尚子様、大下勲様、大谷敏之様、岡村健作様

佐伯潤様、佐藤野恵様、高岡良平様、竹原徳馬様、辻誠様、豊永眞弥様、林正樹様、
札本雅透様、森渉様

【大阪 VMAT 隊員】

萱澤奈津子様

3. 会長賞：成績優秀で将来の発展が期待できる獣医療関係学校の卒業者

目片 佐和 様 大阪府立大学生命環境科学域獣医学類(R8/3/24)

三輪 夕莉 様 大阪 ECO 動物海洋専門学校(R8/3/5)

牧 凜 様 大阪ペピイ動物看護専門学校(R8/3/19)

浦 涼花 様 大阪動物専門学校（R8/3/10）

高田 祐瑞香様 大阪動物専門学校天王寺校（R8/3/10）

(4) その他

1. 学術情報等を掲載した会報を発行した。発行部数：750 部

配布先：会員、近畿地区連合獣医師会構成獣医師会、関係行政機関、動物関係団体、業関係

その他の事業

1. 獣医療に関わる者の待遇改善・福利厚生に関する事業として実施した。

(1) 社員並びにその親族への慶弔と見舞金の給付

日本獣医師会獣医師福祉共済事業で福利厚生を図った。

訃報に接して、供花、香典等で弔慰をしめした。(受信順、敬称略)

開業部会	
教育・研究他部会	

(2) 獣医療証明様式などの頒布

日本獣医師会様式、マイクロチップ、臨床検体送付キット(バイオメーラー)を頒布した。

(3) 会員への情報提供等

会員専用ホームページから速報や訃報で、また文書で情報提供した。

2. 大阪府動物愛護管理基金寄附事業

大阪府動物愛護管理基金に寄附し、動物愛護・動物福祉の向上に資することを目的とする事業を実施したが、利益が生じなかったため寄附できなかった。